

(注)森ビル開発株式会社は、森トラスト株式会社に1999年9月社名変更致しました。

## PRESS RELEASE

1998年2月10日

### 東京駅八重洲口（北側）を落札

森ビル開発株式会社（東京都港区 社長 森 章）は、日本国有鉄道清算事業団により本日行われた「東京駅八重洲口（北側）」（土地面積 12,026.77 m<sup>2</sup>）の売却にかかる入札に参加した結果、これを落札し取得することになりました。

森ビル開発株式会社は、港区、品川区など東京の都心部を中心に、オフィスビル事業、都市再開発事業等を進めて参りました。総合デベロッパーとして、単体のビルだけでなく、城山ヒルズ、御殿山ヒルズのような複合再開発事業の企画から設計、営業、管理まで一貫した街づくりを進めております。

このたびの入札に参加した理由は、以下のとおりです。

東京駅八重洲口地区は、首都東京の玄関部としての役割を担う場所であり、都心に残された数少ないまとまった貴重な空間で、その希少性を高く評価したこと。  
日本を代表するビジネスセンターとしての優れた立地性に加えて、弊社のビル事業ノウハウにより来世紀にふさわしい最先端のオフィスを提供することで、立地にふさわしいテナントの入居が期待でき、高い事業性が実現できると見込んだこと。  
当地区において、東京の新しい顔として計画的な街づくりが行われれば、世界の「東京」再生の拠点ともなり国際競争力の回復に寄与し、日本の不動産市況の活性化にも繋がることを期待できること。

計画の詳細は今後詰めて参りますが、オフィスを中心とした商業施設等の複合ビルの建設を予定しております。

本事業の総事業費は約 2000 億円程度（土地価格を含む）を想定しております。

今後の事業スケジュールは、次のとおり予定しております。

1998（平成 10）年 2 月中旬	土地売買契約締結
1998（平成 10）年 8 月末までに	所有権移転登記、引渡
2001（平成 13）年度	着 工
2004（平成 16）年度	完 成

## 対象土地の概要

所在地 東京都千代田区丸の内一丁目1番41・45・46  
東京都中央区八重洲一丁目208番3・6

面積 12,026.77 m<sup>2</sup>

## 建築計画概要

主要用途 事務所 商業施設

階数 地上33階地下4階

延床面積 約145,000 m<sup>2</sup>